

F-10 沖縄の社会的文化を背景にした主婦の結婚の幸福度  
沖縄女子短大 ○国吉司因子

目的 沖縄の主婦は、家庭における発言力が大で、妻優位型の傾向にあり、妻の幸福度は本土の主婦に比較して低いことがこれまでの調査の結果にでている。

妻の満足度は、夫婦の权威の源泉となるものと仮定されている要因の、夫の所得の高低、妻の就業、金銭の管理権、情緒的要素、妻の年齢等に関係のあることがいわれているが、沖縄の主婦の場合要因となるものは何であろうかと明らかにしたい。

方法 沖縄全島と六地区に区分し、その地区の20代、30代、40代、50代の主婦を対象に質問紙記述法による調査をした。

結果 金銭の管理は、夫婦の優位な权威とは関係なく、妻の方にまかされ当然の事として認識している。

夫の生活態度が、妻に不満を与え多くの要因をつくっているが、それは夫と妻の情緒的要素の見解に問題点があるとみられる。

夫の所得の高低、妻の就業状態、妻の年齢等に関しては今考察中である。

※ この研究は、昭和47年度文部省科学研究助成費によるものである。